

2 調査研究の概要

本調査の概要は以下のとおりである。

まず、本調査研究が提唱する概念についての整理を行い、高齢者の ICT 利活用に関する現状のデータを収集するための実態調査を実施した。実態調査としては、調査の目的に応じて既存文献調査、アンケート調査、フィールド調査を行った。

次に実態調査の結果に基づき、高齢者の生活パターン（ライフスタイル）、ICT 機器の利用状況・意識を整理し、ユーザ像を設定した上で、高齢者におけるユーザビリティ上の課題の検討・整理を行った。

この結果を踏まえて、高齢者にとってのユーザビリティを向上させるために必要となる指針等の検討を行った。

以上の流れを図 2.1 に示す。

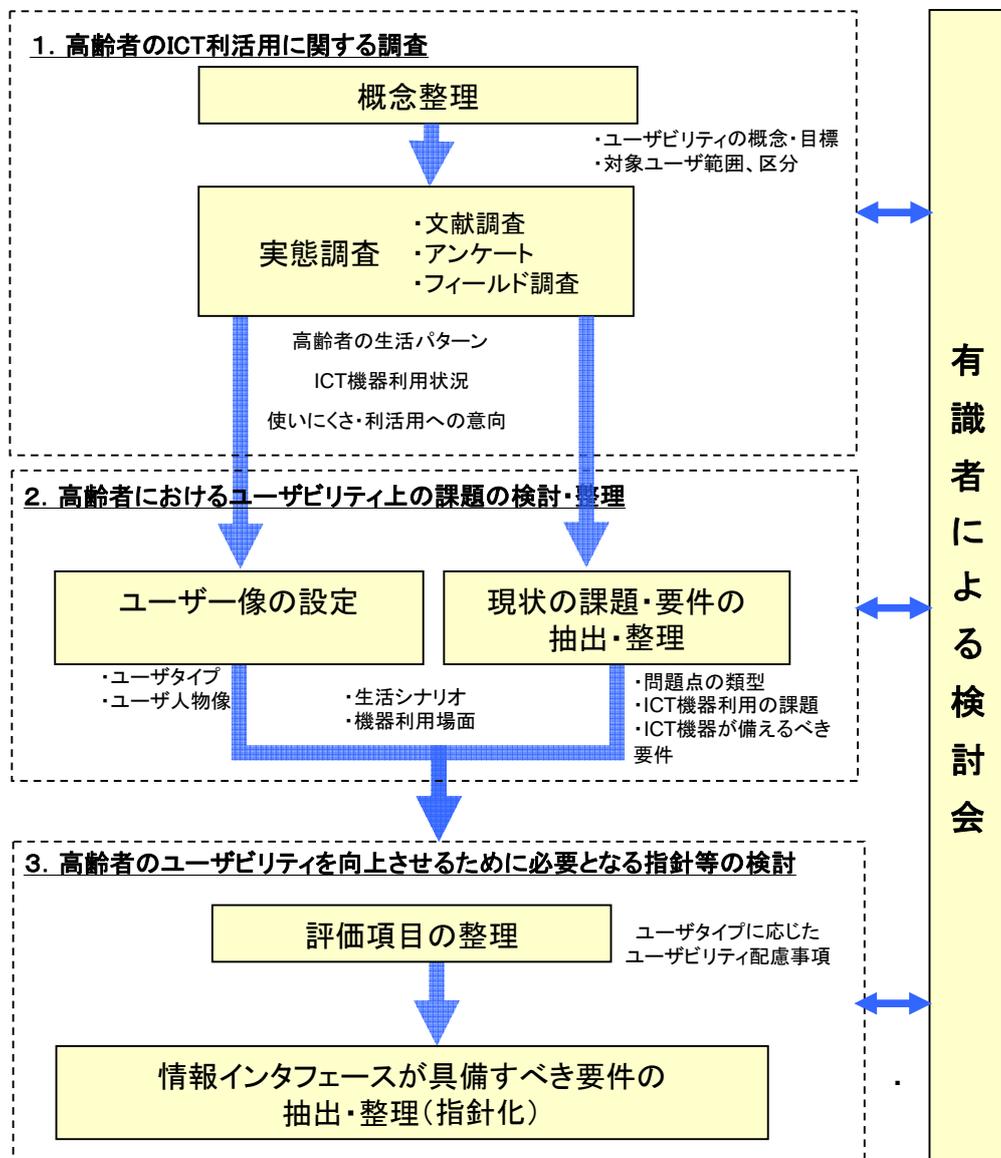


図 2.1 調査研究の流れ

調査研究の実施にあたっては、有識者、携帯電話事業者、メーカー、関連団体のメンバーから構成される検討会を設置し、調査の進め方や結果の分析について、適宜、助言を受けながら遂行した。検討会メンバーのリストを以下に示す。検討会は3回にわたって行った。検討会の設置要綱および開催経緯を資料1に示す。

(五十音順、敬称略)

氏名	所属
やすむら 安村 みちあき 通晃 (*1)	慶應義塾大学 環境情報学部 教授
いとう 伊東 まさこ 昌子 (*2)	常磐大学 人間科学部 準教授
こんどう 近藤 のりこ 則子	老テク研究会 事務局長
さい 佐井 あきしげ 章重	松下電器産業株式会社 パナソニックデザイン社 AVCNアドバンスグループ インタラクションチーム
しみず 清水 ひろかず 博一	情報通信ネットワーク産業協会 マルチメディアソリューション部 部長
たかもと 高本 やすあき 康明	富士通株式会社 総合デザインセンター ユーザー・エクスペリエンスデザイン部 デザインディレクター
ひろさわ 廣澤 かつひこ 克彦	株式会社NTT ドコモ プロダクト&サービス本部 プロダクト部 第三商品企画担当課長
よこた 横田 かずま 一磨 (*3)	総務省 情報通信政策局 情報通信利用促進課 課長補佐

*1 座長

*2 座長代理

*3 オブザーバー